

# 平成30年度事業報告書

特定非営利活動法人GRA

## 1 事業の成果

平成30年度は、震災から7年が経過し、当初は亶理郡山元町には宿泊施設が少なく、県外からの訪問客が寝食する場所もなかったため、当法人では簡易宿泊施設（ミガキハウス）を設置したという経緯があるが、ミガキハウスの運用も少しずつ県内外で周知されてきたこともあり、利用客も少しずつ増加傾向にある。

当法人設立当初は東日本大震災で被災した地域の復興支援を目的とした活動から、復興支援を通じて得た知識や経験を生かし、被災地域の支援だけでなく、広く日本の地域全体の活性化に貢献することを目的に活動しているが、本事業年度においては特に人口流入に重点を置き、宮城県亶理郡山元町にあるミガキハウスの運営と東京都渋谷区のミガキベースとのサテライト運用により、地方と都市との連携をIT機器などの導入により、より一層強化する礎を築くことに専念した年であるといえる。

今後は、これまでの実績をさらに継続していくと同時に、地域社会との連携も少しずつ強化させていき、地域社会との共生を図るとともに、復興ないしは地域活性化のモデルとなるよう今後も精進していく予定である。

## 2 事業に関する事項 平成30年1月1日～平成30年12月31日

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 交流事業

「まちづくりの推進を図る活動」として、昨年より引き続き「簡易宿所営業」および「飲食店営業」の運営を行った。また同時に、東京都渋谷区に開設した都会と地方をつなげる交流拠点「渋谷ミガキベース」では、当法人の活動を紹介するイベントや、他地域で活動する団体のワークショップなどを実施する活動の場として、また地域に貢献する企業、団体が共同で利用できる環境を整備し、昨年より運用が開始した。

単発のイベントとしては、2月18日に「ミガキイチゴと松嶋啓介のフレンチを一期一会で楽しむ会」、4月5日に「農業界の革命児 岩佐大輝「成功する農業」出版記念イベント」4月12日に「「落ち武者」林宙紀と日本の未来について語る会」、4月14日に「UZU HOUSE 見学・体験会」、9月29日に「[宮城結婚式]風とヒッピー～みんなHAPPY」が開催された。

#### ② 教育事業

「学術・文化・芸術の振興を図る活動」として、山元町の子供たちが自分の力で人生を切り開くような大人になってほしいという「こころざしリーダー育成プロジェクト活動」を実施した。山元町の小学生、中学生を対象にした社会見学では、農業生産法人GRAのイチゴ農場へ受入を行った。

単発では7月13日に「[ソーシャル・ベンチャー特別講座] 『岩佐大輝と考える、社会課題をビジネスにする方法』」が行われた。

#### ③ クリエイティブビレッジ (CV) 事業

「経済活動の活性化を図る活動」として位置づけられているCV事業であるが、本事業年度では、ミガキハウスおよびミガキベースの運用で人材を使っていたため本事業の実績はなかった。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
① 交流事業	ミガキイチゴと松嶋啓介のフレンチを一期一会で楽しむ会	2月18日	東京都渋谷区	2人	一般 延べ35人	
	出版記念イベント	4月5日	東京都渋谷区	10人	一般	
	「落ち武者」林宙紀と日本の未来について語る会	4月12日	東京都渋谷区	8名	一般	
	UZU HOUSE見学・体験会	4月14日	山口県下関市	3人	社会人・学生等 延べ37人	
	[宮城結婚式]風とヒッピー～みんなHAPPY	9月29日	宮城県亘理郡山元町	3人	一般・社会人 延べ66人	
	山元ミガキハウス(簡易宿所)	1月～12月	宮城県山元町	10人	町民・大学生・社会人 延べ100人	2,920
	渋谷ミガキベース(地方と都会を繋げる交流地点)	1月～12月	東京都渋谷区	5人	社会人 延べ50人	400
② 教育事業	[ソーシャル・ベンチャー特別講座]『岩佐大輝と考える、社会課題をビジネスにする方法』	7月13日	東京都千代田区	2人	社会人・学生等 延べ31人	
	職場体験 山下中学	8月	宮城県亘理郡山元町	2人	中学生 延べ2人	
	職場体験 坂元中学	9月	宮城県亘理郡山元町	2人	中学生 延べ3人	
③クリエイティブビレッジ(CV)事業	当該事業年度は、活動はなかった					

#### ④ その他事業

その他事業として特に物販などは行わなかったが、STAND UP SUMMIT 2018(東京ビックサイト)に参加した。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
その他事業	STAND UP SUMMIT 2018 参加	8月	東京都	1人	

以上

平成30年度 活動計算書

(平成30年1月1日から平成30年12月31日まで)

特定非営利活動法人GRA  
(単位：円)

科目	金額		
	特定非営利活動に係る事業	その他事業	合計
I 経常収益			
1. 受取寄付金			
受取寄付金	194,440	—	194,440
受取寄付金計	194,440	—	194,440
2. 受取会費			
受取会費	161,902	—	161,902
受取会費計	161,902	—	161,902
3. 事業収益			
交流事業収益	1,467,254		
事業収益計	1,467,254	—	1,467,254
4. その他収益			
受取利息	62	—	62
その他の収入	116,340	—	116,340
その他収益計	116,402	—	116,402
経常収益計	1,939,998	—	1,939,998
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) その他経費			
材料等仕入原価	483,051	—	483,051
業務委託費	299,860	—	299,860
消耗品費	180,014	—	180,014
通信荷造運賃	76,464	—	76,464
水道光熱費	503,412	—	503,412
支払手数料	66,811	—	66,811
地代家賃	559,560	—	559,560
減価償却費	1,016,115	—	1,016,115
雑費	135,296	—	135,296
事業費計	3,320,583	—	3,320,583
2. 管理費			
旅費交通費	113,949	—	113,949
消耗品費	6,171	—	6,171
業務委託費	438,790	—	438,790
支払手数料	170,418	—	170,418
地代家賃	518,400	—	518,400
租税公課	2,780	—	2,780
減価償却費	184,233	—	184,233
雑費	40,705	—	40,705
管理費計	1,475,446	—	1,475,446
経常費用計	4,796,029	—	4,796,029
当期経常増減額			-2,856,031
法人税、住民税及び事業税			142,000
当期正味財産増減額			-2,998,031
前期繰越正味財産額			17,978,682
次期繰越正味財産額			14,980,651

平成30年度 財産目録

(平成30年12月31日現在)

特定非営利活動法人GRA  
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
楽天銀行普通預金	5,813,783	
住信SBIネット銀行普通預金	111,523	
七十七銀行普通預金	949,955	
流動資産合計		6,875,261
2. 固定資産		
有形固定資産		
建物及び建物附属設備		
MigakiHouse	6,216,920	
機械装置		
MigakiHouse厨房設備	1,606,868	
什器備品		
教育事業什器備品	1	
会議システム	767,637	
有形固定資産計	8,591,426	
固定資産合計		8,591,426
資産合計		15,466,687
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
管理費未払金		
理事立替経費未払金	159,798	
交流事業前受金		
理事立替経費未払金	184,238	
未払法人税等		
未払法人税等	142,000	
前受金		
交流事業前受金		
施設利用料収入前受金		
流動負債合計		486,036
負債合計		486,036
正味財産		14,980,651

平成30年度 貸借対照表

(平成30年12月31日現在)

特定非営利活動法人GRA  
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	6,875,261	
流動資産合計		6,875,261
2. 固定資産		
有形固定資産		
建物及び建物附属設備	6,216,920	
機械装置	1,606,868	
什器備品	767,638	
有形固定資産計	8,591,426	
固定資産合計		8,591,426
資産合計		15,466,687
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	344,036	
未払法人税等	142,000	
流動負債合計		486,036
負債合計		486,036
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		17,978,682
当期正味財産増減額		-2,998,031
正味財産合計		14,980,651
負債及び正味財産合計		15,466,687

## 計算書類の注記

特定非営利活動法人GRA

### 1. 重要な会計方針

- (1) 計算書類の作成は、NPO法人会計基準（平成22年7月20日（平成23年11月20日一部改正）NPO法人会計基準協議会）によっています。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
建物及び建物附属設備：定額法  
機械装置：定率法  
什器備品：定額法
- (3) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理方法は、税込方式によっております。

### 2. 事業費の内訳

(単位：円)

科目	交流事業	合計
(1) その他経費		
材料等仕入原価	483,051	483,051
業務委託費	299,860	299,860
消耗品費	180,014	180,014
通信荷造運賃	76,464	76,464
水道光熱費	503,412	503,412
支払手数料	66,811	66,811
地代家賃	559,560	559,560
減価償却費	1,016,115	1,016,115
雑費	135,296	135,296
事業費計	3,320,583	3,320,583

#  
#  
#  
#  
#  
#  
#  
#  
#  
#